



いいたて

# 議会だより

令和5年6月定例会

No.  
**99**  
2023. 8. 20

発行：福島県飯館村議会  
編集：議会広報編集特別委員会



団体の部 第1位！  
「飯館村議会」



個人の部 第1位！  
「佐藤 健太」議員

**相馬地方市町村議会議員  
親善パークゴルフ大会が  
飯館村会場で開催されました！**



個人の部 第3位！  
「花井 茂」議員



議案審議「ザ・議論」	2～3
一般質問「ズバリ村政ここが聞きたい!!」	4～10
審議結果	11
災害復興特別委員会「視察研修レポート」	12～13
議会の動き・常任委員会活動報告・編集後記	14

# ザ・議論

4月臨時会では、予算案件1件、条例案件4件、その他案件4件、承認案件1件が審議され、6月定例会では、予算案件4件、条例案件4件、その他案件3件、報告2件が審議されました。その議論の一部を紹介します。

## 第3回（4月）臨時会

### 議案審議

#### 公設民営ショッピング施設の協定内容について

**質問** 新聞報道があった公設民営ショッピング施設の基本協定の内容を伺う。

**答弁** 飯館村及び(株)ハシドラッグにおいて、「飯館村内の生活環境の向上に関する基本協定書」を締結しました。主な内容は、「今後、飯館村における生活環境の向上が円滑に進むよう互いに協力し合い、協議を進める。」「地元企業と積極的に連携を深め



▲(株)ハシドラッグとの協定締結式

ながら、地域経済の進行に努める。」であります。基本協定ですので、詳細はこれからとなります。

#### 公設民営ショッピング施設の労働者確保について

**質問** 労働者をどのように確保するのか伺う。

**答弁** 村も業者も心配しているところです。移住者・移住希望者の中には村内での働き場所を心配している方がいますので、その方々にも広報しながら、労働者の確保に努めていきます。

#### 公設民営ショッピング施設の設計業務について

**質問** 設計業務等で約1,900万円の予算だが、積算方法を伺う。

**答弁** 公設民営の協定を結んだ業者から、施設の概要の内容を示していただき、村で精査をして、設計を積算し直して予算を計上しました。

## 第4回（6月）定例会

### 意見書を提出

#### 森林整備を一層推進するための森林環境税の課税標準の見直しを求める意見書

#### 提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、復興大臣、総務大臣、農林水産大臣

#### 提出者

飯館村議会議長

佐藤 一郎

#### 提出日

令和5年6月16日

#### 内容

令和元年度から交付されている森林環境譲与税は、その算定基礎が人口と私有林面積が基礎数値となっており、人口割での配分は都市部の配分が大きくなり、実際に環境保全を行っている中山間地への配分が小さくなってしまう。国有林を含めた面積を基礎数値にし、森林環境譲与税の微税趣

旨に基づいての配分を強く求める。

### 議案審議

#### 家畜飼料緊急支援事業補助金について

**質問** 家畜飼料緊急支援事業補助金の内容と根拠を伺う。

**答弁** 購入飼料の高騰分に対しての支援です。1頭(羽)当たり、牛で2万3,000円(1,214頭)、豚で3,000円(1,845頭)、鶏で250円(1万羽)、合計3,595万7千円を見込んでいます。この単価を基本に交付額を算定しますが、市場や単価の推移、飼養頭数の状況等を精査をし、最終的に交付してまいります。

#### エネルギー価格高騰対策事業者支援金について

**質問** エネルギー価格高騰対策事業者支援金(7

00万円)の内容と根拠を伺う。

**答弁** 村内事業者または村外に事業所等を有する事業者への支援金です。1事業者当たり5万円(140事業者)を見込んでいます。

**質問** 1事業者当たり5万円については、会社規模等によって高騰負担率は異なるのではないかと。一律5万円について、商工会と協議しているのか伺う。

また、当支援金については、従業員数に応じて支援している市町村もある。他市町村の取組状況の調査が必要では。

**答弁** 商工会にも確認しましたが全体的な状況は掴んでいないとのことでした。まずは、早急に対応すべく一律5万円を支給したうえで、今後、商業者の方々、あるいは商工会から情報提供をいただき、補正予算で追加対応したいと考えています。



▲発行されている飯館村史

**公民館一般報償について**  
**質問** 一般報償20万円の増額について伺う。  
**答弁** 村の歴史をまとめるため、委員会を立ち上げ「村史」の編さんにあたります。その委員に支払う報償です。飯館村史は昭和50年頃に3巻発行されました。その後約50年が経過し、その間に震災も経験しています。新たに村史の編さんを進め、後世に伝えていく、また、ふるさと資源の掘り起こしにつなげていく計画です。記載内容・発行時期については、委員会で検討します。

## 令和5年度飯館村一般会計補正予算(第3号)に対する修正動議

### ●修正動議提出者

渡邊 計 議員  
 佐藤 八郎 議員

### ●修正動議理由

議案第41号補正予算(第3号)の、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の使い方に関して疑問に思うところがある。商工業、畜産業、生産農家、そして1,108世帯(住民税課税世帯・非課税世帯は交付金対象)が共に物価高に苦しんでいる状況である。この交付金は、電力・ガス・食料品等の高騰に重点を置いた支援事業であるので、まず、村民家庭から支援すべきではないか。全世界帯に交付するだけの予算はあるので、公正公平に鑑み生活者を優先すべきであると考え、この修正動議を提出する。

### ●修正動議の主な内容

家畜飼料緊急支援事業交付金を3,595万7千円から、3,334万9千円を減額し、260万8千円とする。

新たに住民税課税世帯を対象とし、補助金等3,334万9千円(省エネ家電等への買い替え促進による生活者支援事業補助金1世帯3万円×1,108世帯ほか)を増額する。

### ●採決結果

否決(賛成2人・修正動議提出者、反対7人)

### ※今回の「修正動議」

#### に関する説明

村長から議会に提出のあった議案(今回の場合、補正予算)について、議員は必要に応じて議案の修正を行うことができま。その場合、修正案を添えた「修正動議」を提出しなければなりません。今回の修正案については、質疑・討論の結果、反対多数で否決となり、補正予算は、村長提案のとおり可決されました。

# 議会を傍聴してみませんか

氏名の記入など簡単な手続きで、誰でも傍聴ができます。

なお、村のホームページ・イイタネちゃんアプリで議会中継(生配信)をしているほか、過去に開催された本会議、予算・決算審査特別委員会の映像はYouTubeのウェブサイトで公開しています。

## 今後の議会(予定)

9月定例会：令和5年9月 1日(金) 開会  
 令和5年9月 5日(火)、6日(水) 一般質問  
 令和5年9月15日(金) 議案審議、閉会



※令和5年9月8日(金)、12日(火)、13日(水)には、令和4年度決算審査特別委員会を開催予定です。  
 ※正式な日程は告示後、飯館村議会ホームページにてお知らせいたします。

議会の様子はスマートフォンやタブレット端末でもご覧いただけます。専用アプリでQRコードを読み取り、ご視聴ください。(ご利用の際、インターネット等の通信料は個人負担となります。)

議会中継配信(ライブ)はこちらから→  
 (中継配信サイトは、議会開会中のみ接続  
 できます。閉会中は接続できません。)



過去の映像配信はこちらから→  
 (YouTubeのウェブサイトでご覧  
 いただけます。)



# ズバリ 村政

ここが  
ききたい!!

## 一般質問 Q&A

6月定例議会の一般質問には6議員が登壇し、村行政の考えや対応策について問いました。質問順に質疑応答を要約し掲載しています。

ページの都合上、全ての議論を載せることはできません。ホームページには、本議会の会議録を掲載しているほか、各議員のページのQRコードを読み取ると、一般質問の配信動画を見ることができます。併せてぜひご覧ください。

※ご利用の際、インターネット等の通信料は個人負担となります。

※配信動画の視聴にあたり、ご不明な点は議会事務局へお問い合わせください。

### 横山秀人 議員

P7

- 1 電気料金高騰に伴う電気料金支援について
- 2 在宅介護を行っている家族への支援等について
- 3 村内案内看板・注意看板等の清掃及び見直し・新設について
- 4 福島県農業経営・就農支援センターと飯館村の連携について
- 5 GAP(農業生産工程管理)の取組みについて
- 6 原子力被災自治体における住民意向調査の実施について

### 飯畑秀夫 議員

P6

- 1 少子高齢対策について
- 2 新型コロナウイルスに関する事について
- 3 マイナンバーカード及びマイナポイントに関する事について
- 4 ムーンショット計画について

### 佐藤八郎 議員

P5

- 1 移住定住の施策について
- 2 自然環境の再生について
- 3 放射性物質による汚染土・汚染水などについて
- 4 行政と村民対話について

### ※一般質問とは

議員が村の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針案等について、村の執行機関などの見解や取り組みについて質問し、提案・誘導していく製作議論です。



### 渡邊 計 議員

P10

- 1 風力発電について
- 2 深谷地区復興拠点について

### 花井 茂 議員

P9

- 1 関係人口の拡大について
- 2 あいの沢の活性化に向けた検討結果について

### 佐藤眞弘 議員

P8

- 1 希望の里学園における令和5年度の重点教育目標の取組について
- 2 教職員の勤務実態について
- 3 スクールバスの児童生徒の降車確認について



佐藤 八郎 議員

動画視聴は  
こちらから



**質** 村民生活の実態把握を基本とした行政を！

**答** 対話・訪問・コミュニティ担当など住民福祉向上に努めます

案内がされています。

**帰村者・移住者への施策と対応は**

**質問** 移住定住する方々へのインフラ・生活基盤全般についての施策と支援・助成(国・県含め)を示せ。

**答弁** 県では「福島県12市町村移住支援金」があります(単身最大120万円、世帯最大200万円)。

また、移住支援センターを設置し、状況に対応できる支援制度の

**質問** 生活するために、雇用・仕事づくりによる所得が必要であり、継続できる見通しがある暮らしが必要である。村としてどのように知らせ、雇用の場所、仕事する場所を示しながら支援、助成しているのか伺う。

**答弁** 農林業の振興による生業づくり、スタートアップ補助金やベンチャー企業創出支援事業補助金による起業支

援、未来に向けての産業団地造成準備など、雇用の拡大、生業・所得の確保の為に努力してまいります。

**汚染土の除去実態とこれからの見通しは**

**質問** 原発事故によって、飯館村全体が放射性物質(毒物)により汚され、今も森林・堀・川・堤・土手などは事故当時のままである。取り除いた汚染土の除去実態と、残されているものの物流・搬入先・量・計画などを示せ。

**答弁** 除去土壌等の数量は、令和5年4月末時点で総発生量が約267万袋、保管量が約20万袋、仮置き場からの搬出量は約247万袋、全体の約92%です。うち土壌の約41万袋は長泥環境再生事業への搬出がされています。なお、保管されている約20万袋については、令和5・6年

度で搬出予定です。

また、仮置き場関連の実績ですが、借地として約223haを引き続き環境省が借用している状況です。

輸送計画の進捗等は、中間貯蔵施設への輸送は約17・3万m<sup>3</sup>。土壌再生利用は長泥環境再生事業約14・3万m<sup>3</sup>を輸送し、合計約31・6万m<sup>3</sup>の実績です。今後も安全かつ確実な輸送に努めていただくよう要請を継続します。

**安心・安全な暮らしの実現**

**質問** 村に戻った方が1223人、移住転入者が239人、村営住宅入居者が150人で、65歳以上の方々が30%の現状ですが、飯館村での「安心・安全」な憲法に基づく暮らし、特に社会保障・福祉関係での具体的な支援・助成と、保障されるための条件などを伺う。

**答弁** 国民健康保険や後期高齢者医療保険、国民年金、福祉関連の制度や具体的な支援や助成については、保険税、療養給付、介護給付、一部負担免除のほか、児童福祉、高齢者福祉、障がい者福祉、介護など多岐にわたります。村健康福祉課にご相談いただき、対応してまいります。

**緑豊かな村の再生とは**

**質問** 緑豊かで自然を活かした村づくりを、多くの先人の努力によって築き上げた飯館村であったが、原発事故・放射線被ばくなど、自然災害とは違う「東京電力による水素爆発」で、この村は12年前に変えられてしまった。森林面積は村の75%以上であり、その森林の危険な毒物の取り除きをしないままの現在である。高圧電線・風力発電・バイオマスなどの環境への影響は。

**答弁** バイオマスはふくしま森林再生事業を活用して成果を上げていきます。風力発電はメリット・デメリットがありますが、環境影響評価を参考にして、住民福祉の向上に資する再生可能エネルギーを進めてまいります。



飯畑 秀夫 議員

動画視聴は  
こちらから



**質** 将来20年間に  
おける人口動態  
の推測を伺う

**答** 令和13年までの推計では、3,913人となり、令和4年度末より、854人の減少となる見込みです

**質問** 過去10年間の人口動態を伺う。

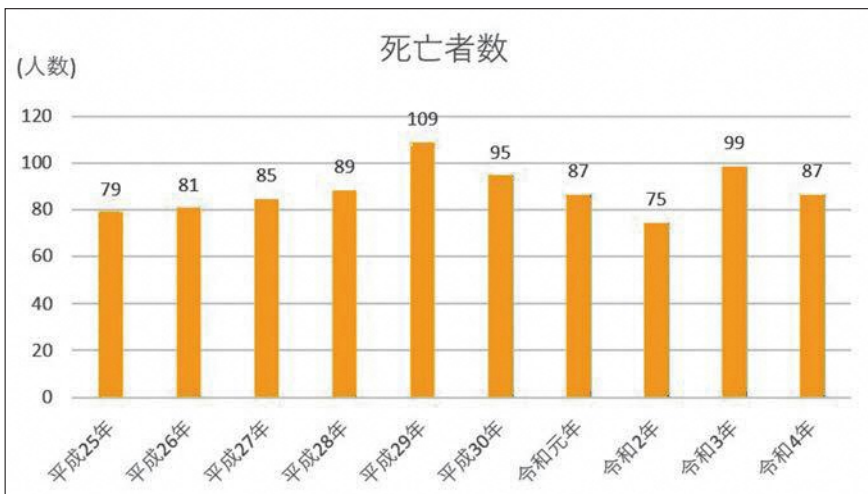
**答弁** 本村の平成25年4月当初の住基人口は6,341人、令和4年度末の中期人口は4,767人であり、過去10年間に於いて1,574人の減少となっております。

**質問** 過去10年間に於ける死亡者数を前年度比で示せ。

**答弁** 本村の死亡者数は平均で88人となっております。平成25年から令和4年までの死亡者数は下記のグラフのとおりです。

**質問** 少子高齢に関する施策を伺う。

**答弁** 「赤ちゃん誕生祝い金事業」や小中高等学校の「入学等準備費用の助成」、「不妊治療費助成事業」等を行っ



▲過去10年間の死亡者数の推計

ております。高齢化対策としては、健康づくりの推進や「まidea健康運動塾」の施策等を講じています。

移動スパーや宅配サービスなど安心した生活環境づくりに努めています。

**マイナンバーカード及びマイナポータルについて**

**質問** 令和6年度秋からマイナンバーカードが保険証の代わりとなるが、普及率と住民への周知方法を伺う。

**答弁** マイナンバーカードを活用しての住民票あるいは印鑑証明等の発行については、現在、前向きに検討中です。どうしてもシステムの導入は自治体の負担となりますので、その部分については、ほかの大きな市町村のように、税証明から全て戸

**答弁** 普及状況は、5月31日現在、本村の申請率は約8割です。広報お知らせ版への掲載のほか、出張申請、社会福祉協議会と連携した取得促進活動や避難先でのカード取得に係る説明会の実施、コロナワクチン接種会場での取得促進のPRなどを実施しております。

**質問** マイナンバーカードを活用することで、コンビニにて住民票や印鑑証明、公的書類を取得できるが、本村は今後やる予定があるのか伺う。

**答弁** ワクチン接種については、今年度は国の施策で、無料で実施できます。その後の部分については、まだ国のほうの方針として出されておりません。

**新型コロナウイルスについて**

**質問** ワクチン接種6回目は無料なのか。いつまで実施する予定なのか伺う。





横山 秀人 議員

動画視聴はこちらから



**質 電気料高騰に対する支援を！**

**答 電気料金等物価高騰による商業及び農家等へ支援をします**

**質問** 飯館村商工会より電気料高騰に伴う支援要望がありました。村民の雇用維持と安全な職場環境を維持するため、さらに地域経済の継続的な発展のため、商工業及び農家等への電気料金の支援を提案します。



▶飯館村商工会からの要望書(令和5年5月)

**答弁** 物価高騰による影響を受けている事業者に対し支援金を交付する補正予算を当議会に計上しています。農

**質問** 在宅介護への金

**在宅介護家族への慰労手当の創設を検討すべき！**

銭的支援を求める声があります。他自治体でも行っている「在宅介護家族への慰労手当」等の検討を提案します。

**答弁** 「飯館村ねたきり高齢者等介護激励金」制度がありますが、要介護認定4または5の方で、介護サービス等を利用していない等の条件があるため、申請される方は近年いまません。村では「家族介護者支援事業」にて介護者の集い等を開催し、介護者のリフレッシュ等を行っています。

**村内案内看板・注意看板等の清掃及び見直し・新設を！**

**質問** 観光やバイオマス発電等の稼働により、村外からの自動車等が増えることによる交通事故等が懸念されます。村全体の案内板や走行注意看板等の清掃、設置場所の見直し・

新設等を提案します。

**答弁** 最も交通量が多い県道は、県と連携した交通安全対策を図るとともに、関係各所と協議しながら必要な見直しを進めます。



▶二枚橋(水境)の御影石案内モニュメント。きれいにしてほしいとの要望あり。

**就農支援・農業支援事業等の飯館村独自のパンフレット作成を！**

**質問** 4月に開設される「福島県農業経営・就業支援センター」との連携も含めた飯館村独自の就農・営農支援等のパンフレット作成し、就農を検討している方・農家・農業法人等への配布を提案します。

**答弁** まずは、福島県

や当センターが就農の要点や支援制度相談窓口を記載したパンフレットを活用し、移住・就農を検討している方等に周知を図ります。

**GAP(農業生産工程管理)の積極的なPRを！**

**質問** 飯館村の農産物の更なる安全性のPRと農業の効率化、職場環境の安全性向上、販路拡大を図るため、GAP認証のPRと支援体制整備を提案します。

**答弁** 農業者の皆さんから丁寧な意見を伺いながら、JAなどと連携した取り組みを進め、GAPのメリットを十分活かせる経営体を育成したいと考えています。

**村民個人・会社・団体等を対象とした飯館村独自のアンケートを！**

**質問** 現在、3,000

人以上が村外で暮らししており、直接話す機会はとて少ない状況です。村民の悩みや意見・提案等は、行政区ヒアリングや住民懇談会、役場職員のコミュニティ担当による活動等では把握しきれません。村民の声を直接聞くため、個人・会社等を対象に郵送アンケートを提案します。

飯館村人口	4,745人
村内居住者	1,522人
村外避難者	3,220人

(不明 3人)

※村発表資料(R5.7.1)より

**答弁** 過去に実施した「住民意向調査」等のアンケート形式に拘るのではなく、直接ご意見やご要望を伺うことができる行政区ヒアリングや住民懇談会により、住民の意向確認を実施しています。スケジューリングを持って、調査を進めてまいります。



佐藤 眞弘 議員

動画視聴は  
こちらから



**質** 令和5年度の希望の里学園の重点教育目標について伺う

**答** 重点目標5点について取り組みます

**質問** 令和5年度の希望の里学園の重点教育目標について具体的に何をするか伺う。

**答弁** 教育委員会では今年度も学校教育指導の重点を作成しており、今年度は特に次の5点を重点化し、教育に取り組むように指示したところです。

1点目は、「算数・数学の充実」です。前期課程からの教科担任制

や理解度・内容の難易度に合わせて専門性を生かし、複数の教師で個に応じた指導に取り組めます。

2点目は、「英語教育の充実」です。前期課程からの教科担任制や、7年間の英語教育を専門の知識と技能を持つ教師が指導を行います。

3点目は、「ICT機器の活用」です。ICTを活用することがよ

い場面と、黒板やノートといったアナログの方が効果的な場面を研究しながら活用します。

4点目は、「読書活動の推進」です。読書や新聞を活用した活動などにより、読解力を養います。

5点目は、「いたて学の充実」です。いたて学の活動を充実・発展させながら、9年間の学びの系統性も考慮した活動にしています。



▲いたて学の授業の様子

特に英語、数学（算数）は以前より課題として取り組んでいます。まず数学（算数）につ

いては前期課程の算数（3年生から6年生）については、これはまさしく義務教育学校のメリットでありますが、後期課程（中学校）の数学担当教師が小学校に来て、専門性を生かして指導します。それによつて、いわゆる「中一ギャップ」の軽減にもつながります。もちろん学級担任もついており、丁寧な指導が展開されています。

後期課程の数学においては、2名あるいは3名の教師が担当し、それぞれの学習スタイル、あるいは理解度に合わせて授業を行います。本人の希望による習熟度別学習、一人一人に応じた指導によって学力の充実に努めております。

**教職員の勤務実態について**

**質問** 過労死ラインの

月80時間以上勤務している教職員はいないか。

**答弁** 村では、「飯館村立学校の教育職員の在校等時間の上限等に関する方針に関する規則」を定めています。

過労死ラインの時間外労働をしている教育職員については、いたて希望の里学園においてはおりません。また、年間を通して規則に定める上限を上回る教育職員もおりませんでした。教育委員会としては、今後も引き続き教育職員の働き方改革に努めてまいりたいと考えております。

**スクールバスの車内置き去りについて**

**質問** 昨年9月に静岡

県牧之原市、川崎幼稚園で子供をスクールバスに置き去りにして死亡する事故が発生している。本村における対応策を伺う。

**答弁** 当村のスクールバスについては、まていの里のこども園児を乗車させる場合は、必ず助手を同乗させることとしており、乗車時は保護者からの引渡し、こども園では先生への引渡し、車内点検の実施などにより安全対策を徹底しているところです。

スクールバスへの車内置き去り防止安全装置の設置は、本定例会（6月定例会）における補正予算に計上しております。

また、令和5年4月からこども園に保育管理システムを導入し、保護者や職員の間で密に情報共有されており、これまで以上に管理を徹底しているところであります。教育委員会としては、今後も引き続き安全対策を徹底してまいりたいと考えております。





花井 茂 議員

動画視聴は  
こちらから



**質問** 「までい大使」の任期が終了とのことだが、これは一定の役割と目的が達成されたことでの終了か。

**答弁** 本村では「までいライフ」を村づくりのあい言葉として、平成17年度より多くの事業に取り組んできたところである。「までい大使」については、人と人が良好に繋がりが相互が助け合う豊かな社会といった村が提唱してきた「までい」の思想を広く社会にお伝えして頂くとともに機会を見つけて村にお越しいただき、村民の皆さんとの交流

**質問** 関係人口拡大の取り組みについて「までい大使」「ふるさと住民票」の現状はどうなっているのか

**答** 「までい大使」の任期は令和3年に終了し現在の在籍は0名、「ふるさと住民票」登録者数は995名です

を図って頂くということとを目的としたものです。今般、その思想と精神につきましては全国的に広まりを見せており、村としては一定の役割を果たしたものと捉えております。

**質問** 村として新たな制度は検討しているか。

**答弁** 現在「までい大使」の制度は終了してありますが、新たな制度として「アンバサダー制度」等を検討しています。村の各新規事業の感想など今後の村政にフィードバックするため、ご意見・ご支援をして頂く制度を想定しています。



「村民の森あいの沢」の活性化に向けた検討結果は

**質問** 「あいの沢」の活性化に向けた調査業務を発注し検討を行っているが、その結果としての基本構想はどうなっているか。

**答弁** 調査業務においては、民間企業へのヒアリングや村民とのワークショップ、利用者アンケートの分析など、様々な手法で調査分析を重ね基本構想を作成したところです。検討結果においては、「あいの沢」の活性化に向けた基本理念として、村内外を問わず飯館村に関わりのある方により一層に関心を持っていただき、繋がりを維持し続けられるような交流の場を創造すること、また飯館村の「までい」な暮らしを垣間見ることに、利用者により「わ

くわく」するような時を過ごしていただき新たな「いいいてファン」を生み出すことのできる施設を目指すこととしております。

**質問** 基本構想についてはキャンプ場や、ため池周辺を入れた総合的なものになるのか。

**答弁** あいの沢再整備基本構想におきましては、現在オープンしているため池周辺のキャンプ場・バンガロー跡・



▲空から望む、村民の森「あいの沢」の壮大な風景

焼肉ロジ跡・テニスコート跡・きこり・民家園など全体的な範囲の他に新たに、ため池周辺を含めたゾーン（施設の目的ごとに区画する）ということでも検討してきたところでありますが、基本構想だけにこだわるのではなく様々な皆様のご意見も取り入れながら進めて参りたいと思います。



渡邊 計 議員

動画視聴は  
こちらから



**質** 飯館村南部に展開しよう  
としている風力発電事業  
をどこまで把握している  
のか伺う

**答** 事業者から現在は、報告書の作  
成・広告・縦覧、説明会の開催  
が終了したところであると報告  
を受けているところです

**質問** 縦覧場所につい  
ては、川俣町四ヶ所、  
二本松市三ヶ所、立地  
される飯館村において  
は一ヶ所だけである。

説明会も川俣町で行わ  
れ、参加してきたが、  
飯館村では説明会は開  
催されたのか伺う。

**答弁** 村でも説明会を

行なったと聞いており  
ますが、参加者がいな  
かったと聞いていると  
ころです。

**質問** 村内での風力発  
電設置についてどのよ  
うに考えているのか伺  
う。

**答弁** 「ゼロカーボンビ  
レッジいたて」に基づ

き、中山間地特有の自  
然条件、立地条件を活  
かした持続可能な来を  
創出するため、再生可  
能エネルギーが住民福  
祉の向上に寄与してい  
るのか含め、いたて  
美しい村づくり推進条  
例に基づき審査会等で  
協議を進めております。

**質問** 今回は蔵平から  
長泥・比曾まで最大28  
基の建設計画である。

そんなに建てるなら  
飯館村の電気代を無料  
にしると言いたいとい  
ころだが、村長の言う住  
民福祉の向上に寄与に  
関しての内容を伺う。

**答弁** 今、議員が具体  
的におっしゃった電力の  
地産地消という部分に  
ついて「ゼロカーボンビ  
レッジいたて」の中  
には当然その構想もあり、  
電力高騰の中で電力を  
外に供給するだけでな  
く、村民生活のためにも  
活用出来ないか模索  
している状況です。



▲28基の風力発電設置予定場所(株)東急不動産説明書より

**深谷地区復興拠点  
について**

**質問** 施設の管理運営  
と維持管理について伺  
う。

**答弁** 「株までいガー  
デンビレッジいたて」  
とは「道の駅までい館」  
の管理運営とドッグラ  
ンの入場券の管理を委

託しております。

維持管理については電  
気料・水道料・施設点  
検費用・環境整備費用  
などは指定管理料にて  
管理されております。

また、収益事業かかる  
経費や人件費について  
は収益により運営して  
いただいています。

風の子広場とドッグ

ランは村が直接管理し  
ています。

**質問** 風の子広場には  
日除けがなく、ドッグ  
ランにはあることはあ  
るが高すぎて役に立っ  
てない。これだけの暑  
さの中では日射病の危  
険性がある。早急に対  
策すべきと考える。

**答弁** 出来るだけ早い  
時期に対策がとれるよ  
う多角的な検討してま  
いります。

**質問** 半年前と同じ答  
弁ではないか。

**答弁** 早急に対応した  
いと思えます。

**質問** ツバメ対策での  
悪評がSNS等で約  
7万9千件の閲覧が  
あったが、村からの指  
示だったのか。

**答弁** 村からの指示で  
ございます。



# 審議結果

令和5年第3回（4月）臨時会では予算案件1件、条例案件4件、その他案件4件、承認案件1件が提案され、審議の結果は下記の通り議決されました。

- 議案第32号 令和5年度飯舘村一般会計補正予算(第2号)
- 議案第33号 飯舘村税条例の一部を改正する条例
- 議案第34号 飯舘村国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- 議案第35号 飯舘村国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 議案第36号 東日本大震災に伴う村税の減免に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第37号 農業水利施設等保全再生事業 ため池放射性物質対策工事(市沢第1ため池)請負契約について
- 議案第38号 農業水利施設等保全再生事業 ため池放射性物質対策工事(野沢ため池)請負契約について
- 議案第39号 農業水利施設等保全再生事業 ため池放射性物質対策工事(沼平ため池)請負契約について
- 議案第40号 農業水利施設等保全再生事業 ため池放射性物質対策工事(笹峠第2ため池)請負契約について
- 承認第 1号 専決処分の承認について

令和5年第4回（6月）定例会では予算案件4件、条例案件4件、その他案件3件が提案され、審議の結果は下記の通り議決されました。

- 議案第41号 令和5年度飯舘村一般会計補正予算(第3号)
- 議案第42号 令和5年度飯舘村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 議案第43号 令和5年度飯舘村介護保険特別会計補正予算(第1号)
- 議案第44号 飯舘村子育て支援センター設置条例
- 議案第45号 飯舘村有害鳥獣減容化施設の設置及び管理に関する条例
- 議案第46号 東日本大震災に伴う国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第47号 東日本大震災による被災者が属する世帯の第1号被保険者に対する介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第48号 新規就農者技術習得管理施設新築工事請負契約について
- 議案第49号 飯舘村消防団小型ポンプ付積載車の取得について
- 議案第50号 福島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福島県市町村総合事務組合規約の一部変更について
- 議案第51号 令和5年度飯舘村一般会計補正予算(第4号)

# レポート

令和5年  
5月16～17日  
(東京都羽村市、奥多摩町)



▲羽村市スイミングセンター

## 羽村市スイミングセンター視察

令和5年5月16～17日の2日間にわたり、飯舘村議会（東京電力福島第一原子力発電所事故災害復興特別委員会）は行政視察を行いました。その視察内容の一部をレポートします。

一日目の5月16日は、オフライン熱輸送型蓄熱システムの研修で東京都羽村市の羽村市スイミングセンターにお邪魔しました。ここでは熱発生源から熱利用先までパイプラインをつなぎ、水や

蒸気などの熱媒体を熱輸送するオンライン方式でなく、蓄熱媒体をトラックなどで輸送するオフライン方式を使った実例を視察しました。

この羽村市スイミングセンターでは向かいにある日野自動車羽村工場内での大型発電機の工業廃熱を利用して熱を加え、蓄熱乾燥状態に湿度を与えると放



▲一日目の研修の様子

これは、令和6年度から飯舘村内で稼働する予定の木質バイオマス発電所で発生する廃熱の利用について、農業ハウスや公共施設等での空調利用で冷暖房に活用できないか、理解を深めるため視察をさせていただきます。



▲アームロール車稼働の様子を視察

熱する「ハスクレイ（※下部に解説あり）」と言う発熱物質を専用の箱に詰めてプールに運搬し、プールの水や暖房設備に利用して化石燃料の使用量を減らしながら、廃熱利用を行なっています。

### 感想

「ハスクレイ」の可能性は非常に高いと感じましたが、このプールでの空調設備には専用の設備とハスクレイの移動に必要なアームロール車等が必要となり、これにはある程度の設備投資と維持メンテナンス等のコストがかかると感じました。

※ハスクレイとは：

非晶質アルミニウム  
ケイ酸塩

(HAS : Hydroxyl

Aluminum Silicate)

と低結晶性粘土 (Clay)

からなる複合体の無機

系吸着材で、ゼオライト

トヤシリカゲル(A型)

の約3倍の水蒸気吸着

量を有し、100℃以下

の低温でも再生が可

能な高性能吸着材です。

低温で再生（乾燥）が

可能な高性能吸着材

で、この吸着材を用い

た省エネシステムの研究が進められていきます。その代表的なものが、工場等の低温廃熱を用いた熱利用システムです。



▲ハスクレイ



▶研修ではハスクレイに近い「ゼオライト」という発熱物質を実際に触らせていただきました

東京電力福島第一原子力発電所事故災害復興特別委員会

廃熱利用  
移住定住対策

視察研修

奥多摩町  
行政視察



▲二日目の研修の様子

二日目の5月17日は「移住・定住の取組」をテーマに東京都奥多摩町の行政視察を行いました。飯館村同様、奥多摩町の課題は、過疎化における人口減少と高齢化に歯止めをかけることです。そのために「少子高齢化対策」と「定住化対策」を念頭に、奥多摩町では3つの事業を重点的に推進しています。ここではその一部取組を紹介します。

①少子化の対策の推進

保育園の保育料全額助成、小・中学校の給食費全額助成、中学生の制服代等全額助成ほか（税金や各種使用料等の滞りなしが条件）。

②定住化対策の推進

(1)町営若者住宅  
世帯主が40歳以下の夫婦または50歳以下の子供がいる世帯・夫婦に対し、安価な金額で貸し出す町営若者住宅（使用料は2万円〜3万3千円）。

(2)いなか暮らし支援住宅・若者定住支援住宅  
住居として15年間居住した場合、無償で土地・建物を譲与する（町が寄付を受けた空き家などを活用）。

(3)子育て応援住宅

新築住宅に22年間居住した場合、土地・建物を譲与（使用料は5万円だが子育て世帯

へは人数に応じ一部減額）。

その他、「町が整備して販売する安価な宅地分譲」「空き家バンク。若者用空家バンク制度の実施」「移住・定住応援補助金の交付」「定住促進サポート事業支援金の交付」等。



▲奥多摩町の町営若者住宅

③空き家対策事業

(1)特定空家等解消事業  
相談事業の充実、困難ケースの対応、特定空家等認定審査会の充実。

(2)空家等活用促進事業  
交付金

空き家を活用するために必要な「相続登記費用」や「ごみの片付け・処分」等にかかる費用の一部を交付。

感想

定住対策事業による定住人口は4746人中588人（約12.3%）、年少人口は336人中191人（56.8%）となっており、様々なきめ細かな事業を実施して効果は出ていると感じました。特に若者にターゲットを絞った事業を展開していることにより将来の人口減少を見据えた取組となっています。

▲奥多摩町の子育て支援、若者定住促進ガイドブック



視察研修まとめ

以上、二日間にわたり、羽村市スイミングセンターのオフライン熱輸送型蓄熱システムによる廃熱利用、奥多摩町の移住定住対策を視察しました。

廃熱利用については新しい技術なので今後も研鑽を積み飯館モデルを構築していく必要があると感じました。移住定住の取組については、飯館村でも重要な課題です。奥多摩町の取組のような若者にターゲットを絞った取組も必要ではないかと感じました。



# 議会の主な動き（4～6月）

## 《4月》

10日

- ・災害復興対策特別委員会

26日

- ・議会運営委員会
- ・全員協議会
- ・第3回臨時会本会議
- ・広報編集特別委員会

## 《5月》

9日

- ・産業厚生常任委員会（所管事務調査）

16日～17日

- ・災害復興対策特別委員会視察研修（東京都羽村市・奥多摩町）

## 《6月》

6日

- ・議会運営委員会

9日

- ・全員協議会
- ・第4回定例会開会
- ・各常任委員会

13日

- ・第4回定例会

（一般質問）

◀6月定例会の様子



14日

- ・第4回定例会

（一般質問）

- ・全員協議会

- ・議会運営委員会

16日

- ・全員協議会
- ・第4回定例会
- （議案審議・閉会）
- ・広報編集特別委員会

27日

- ・町村議会広報研修

（福島市）

## 常任委員会

### の活動

#### 産業厚生常任委員会

#### ●調査事項

「ふくしま森林再生事業計画」並びに「放射線検査」が適正に行われているか現地調査を行い、事業計画並びに進捗状況の聞き取り調査を行う。

#### ●調査日時・場所

- ①令和5年1月18日
- ②令和5年5月9日

南東北木材株式会社（伊達市伏黒）・議員控室



▲伊達市南東北木材(株)現地視察の様子

#### ●結果

①年度別事業実施計画に基づいた森林整備が実施されていた。

②放射線検査測定には問題ななかったものの、線量単位にベクレルとCPMが使われており、紛らわしかった。

#### ●所見等

・原発事故による放射線物質の影響により、森林整備や林業生産活動が停滞し、森林の荒廃や山村地域の衰退が懸念されるなか、森林整備とその実施に必要な放射線対策を推進し、森林の有する多面的機能を維持し森林を再生していくことが望まれる。

・民有林が事業対象となっているが、国有林や屋敷林（面積0.1ha未満）も対象とし、本来の事業目的に沿った森林再生をすべきである。

・事業が設計どおり実施されているのか、業務内容や事業量等の調査をすべきである。



▲運び込まれた木材

## 編集後記

日本中猛暑が続いて、飯館村も暑い日が続いていますね。

昔の飯館村の印象は日陰は涼しくてカラッとされていて、エアコンが無くても過ごせた印象でしたが、近年は蒸し蒸しして亜熱帯地域のような気候になってきたように感じます。

その他にも線状降水帯やゲリラ豪雨など異常気象も全国的に増え

#### 発行責任者

議長 佐藤 一郎

#### 編集

#### 広報編集特別委員会

委員長	高橋 孝雄
副委員長	佐藤 健太
委員	飯畑 秀夫
〃	花井 茂
〃	横山 秀人
〃	佐藤 真弘

ており、災害も激甚化しやすくなっています。温暖化や気候変動の影響を抑える事と同時に、日頃の備えをもう一度、確認しておきましょう。

まだまだ暑い日が続きますので、熱中症に気を付けてお過ごしください。

今回の議会日よりは創刊100号を迎えます。

これまでの議会の歴史を振り返りながら、今後わかりやすい議会だよりを目指してまいります。